

# 並木中等進路だより No. 3

## 前期生

2013・6・4

### 学力推移調査1回目の結果が出ました！

新学期になって最初に行われた外部模試「学力推移調査1回目」の結果が先日戻ってきました。1年生にとっては、順位が出る初めてのテストとなったわけですが、結果に一喜一憂するのではなく、今後の学習の取り組みの参考とさせていただきます。例えば、「次のテストの順位を○番にしたい。そのためには、学習時間を△時間に増やした方がいい。」とか、「国語はまあまあだったけれど、数学がちょっと・・・。数学の復習に力を入れて、平均点はとれるようにしたい。」「国語の読解力の部分が弱いな。でも勉強の仕方がよくわからない。教科の先生に聞いてみよう。」などです。それぞれの教科の分野別に到達度が載っています。自分に足りない部分に力を入れた家庭学習への取り組みが次につながってきます。2、3年生は結果を真摯に受け止め、現状を分析し、足りない所を補う学習をしていきましょう。今学習している内容と、過去の学習内容を並行しての復習は時間的にも厳しいかもしれませんが、理解不十分なままだと消化不良を起こしてしまいます。復習にも力を入れることで、現在学習している内容の理解がしやすくなることも期待できます。やるべき時にしっかりやらなければいけません。下は、偏差値での学年間比較です。

6 年生 (1 年次生)	1 年次	1 年次	1 年次	1 年次
	2013(4月)	2012(4月)	2011(4月)	2010(4月)
国 語	57.2	55.4	57.5	54.9
数 学	54.1	52.2	52.0	51.0
総 合	56.2	54.1	55.4	53.1

\* 今までで、一番よい結果となっています。授業と家庭学習にしっかり取り組み10月のテストに向けて更に力をつけてほしいです。次回のテストは、記述式になりますので、マーク式のように答えだけあっていればよいというわけにはいきません。考えた過程をどう表現するか、思考力・記述力・論述力が試されます。

5 年生 (2 年次生)	2 年次	1 年次	
	2013(4月)	2012(10月)	2012(4月)
国 語	55.4	55.7	55.4
数 学	56.1	56.5	52.2
英 語	59.2	55.8	
総 合	58.2	57.3	54.1

\* 今回、英語が飛躍的に伸びたので、総合も今までで一番良い結果となっています。更に上を目指すには、国語・数学の力をどのようにつけていくかがポイントとなりそうです。

4 年生 (3 年次生)	3 年次	2 年次		1 年次	
	2013(4月)	2012(10月)	2012(4月)	2011(10月)	2011(4月)
国 語	58.4	55.9	57.0	57.1	57.5
数 学	57.1	54.5	55.9	54.9	52.0
英 語	63.8	64.6	64.7	63.4	
総 合	61.7	60.2	61.1	59.8	55.4

\* 着実に力をつけています。英語が高いレベルで安定しており、国語と数学も前回に比べ伸びました。素晴らしいです。強いて言うと、2年次の10月(記述式)で下がったのが気になります。普段から、思考力・記述力・論述力を意識して学習に取り組み、次回の10月のテスト(記述式)では、今回を上回ってほしいです。

今回は、お笑いコンビ「フルーツポンチ」の村上健志さんについてです。  
1980年生まれ。県立竜ヶ崎一高、青山学院大学経済学部卒業。2005年に元自衛隊員の亘健太郎さんとお笑いコンビ「フルーツポンチ」を結成。ボケ担当で、ネタ作りも行っている。「爆笑レッドカーペット」「ピラメキーン」などの番組にテレビ出演している。

### お笑いコンビ 「フルーツポンチ」の村上 健志さん

(2011年3月4日 読売新聞掲載)

中学生の頃から勉強は好きで、普段の授業をしっかりと聞いていました。高校は自宅から近い竜ヶ崎一高を選びました。高校に入ってからも勉強は授業中心でした。世界史が得意で、友人とクイズ感覚で問題を出し合いながら勉強していました。

熱中していたのは部活動のサッカーです。サッカーは小学校から始めていましたが、高校時代はずっとレギュラーになれませんでした。それでも続けられたのは仲間がいたからです。今は忙しくて会う時間がありませんが、時々会えば昔話に花が咲きます。



今の仕事を選んだのは、昔から漠然と「芸能人になりたい」という夢があったからです。とにかくきっかけがほしいと大学3年生の途中から俳優養成学校にも通いました。結局、お笑いの道を選びましたが、右も左もわからず、俳優養成学校に通っていたのは、今ではいい思い出です。

昔から人を笑わせることが好きだったので、「自分にはお笑いが向いている」と考え、吉本興業の養成所に入りました。そこで出会ったのが今の相方の亘健太郎です。結成直後はオーディションを受けても、不合格の連続でした。それでも片っ端からオーディションを受けて、ついに僕たちのコントをおもしろいと言ってくれるプロデューサーさんに会い、テレビ出演が決まりました。本当にうれしかったです。一人ではあきらめていたかもしれませんが、相方がいたからくじけず挑戦し続けることが出来ました。



振り返ってみると、人との出会いに恵まれた人生だと思っています。昔からの友人、売れないころから苦楽を共にした相方、共演者やスタッフさん。自分はいくらの方を支えられて生きていることを実感しています。

中学生には何でもいので、夢を持ってほしいです。僕も漠然とした夢からのスタートでしたが、夢があったから今があると思います。それから夢をかなえても立ち止まることなく、向上心を持ち続けてほしいです。夢が実現できたら、それは次の夢へのスタートです。僕も現状に満足することなく、自分を高めていきたいと思っています。

今はテレビ出演に加え、地方営業の公演など忙しいですが、毎日が充実しています。今後はお笑い以外の分野にも挑戦したいと思っています。もちろん、俳優も。俳優養成学校に通っていましたからね。